

# 新<sup>しん</sup> 緑<sup>みどり</sup> ニュース



病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院  
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271  
地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



## 新年あけましておめでとうございます 病院長 小田 瑞彦

地域の皆様には、日頃より当院の医療にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

日本は世界に先駆けて超高齢社会に突入しており、社会保障費の急増が問題となっています。そこで、政府は医療費抑制のため在宅医療に力を入れ、急性期病院を減らす方針を示しました。

しかし、単に病院を減らすと国民の皆様が困ることになります。そこで「地域包括ケアシステム」という構想が現れました。これは、自宅（または高齢者施設等）で療養できる方は、できるだけ住み慣れた自宅で療養していただき、病院に入院する程ではないが「自宅では少し不安」という病状の時は、病院内に併設される『地域包括ケア病棟』に一定期間入院します。そして、元気になられた時に、また自宅に戻っていただくシステムです。現在、全国にこのような『地域包括ケア病棟』ができています。

当院におきましても、開設準備をすすめております。基本的には、これにより診療の幅が広がり、より地域に貢献できるのではないかと考えております。

横浜新緑総合病院は、今年もより良い医療を追及していきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 副院長就任のご挨拶 副院長・看護部長 天野 友子



この度、1月1日より横浜新緑総合病院の副院長に就任いたしました、天野 友子と申します。

平成22年より看護部の代表として、当院をご利用いただく皆様に安心、安全な医療を提供すること、そして働く職員が満足して働き続けられる職場環境を構築することに力を注いで参りました。

看護部長6年目を迎え、更に新たな機会をいただきました。看護師の視点で地域の皆様のため、病院のためにお役に立てるよう一層の努力をして参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## EPA（経済連携協定）看護師候補生 「国家試験合格に向けて」

当院ではEPA（経済連携協定 Economic Partnership Agreement）に基づき、看護師候補生を受け入れています。平成27年度は、12月に2名の候補生が入職しました。

日本の看護師資格を取得するため、看護の現場で働きながら日本の言葉や文化・習慣を学び、看護師国家試験合格に向けて勉強しています。

### インドラさん：6階西病棟

(INDRAWAN GUNAWIBAWA)

- インドネシアのバンドンから来ました。
- 趣味  
登山とサッカーの試合を見ることです。
- 辛い料理が好きです。



### エカさん：7階病棟

(EKA AYU OMPI)

- インドネシアのマナドから来ました。
- 趣味  
バドミントンと料理をすることです。
- 食べ物では、ラーメンが好きです。



<二人からのメッセージ>

「頑張りますので、よろしくお願いします！」



看護部長の天野です。日頃より当院の運営にご支援いただきありがとうございます。看護部の職員および取り組みをご紹介します。

看護部には看護師、介護福祉士、看護助手が所属しています。職員数は現在 240名程で、平均年齢は34歳です。卒業したばかりの職員から大ベテランの職員まで幅広く勤務しています。明るく元気で思いやりのある職員ばかりです。託児施設も完備し、働き方もいろいろ選択でき、安心して仕事が続けられる環境です。

看護部理念は、「専門的知識、技術にあたたかい心を添えて良質な看護サービスを提供する」ことです。より専門的な知識を持った認定看護師や、それぞれの分野で知識を深めた看護師が多数勤務し、知識・技術を研ぐことに力を入れています。そして、看護師である前に人としての人間力を育み、当院をご利用いただく皆様に、安心して、信頼していただける看護の提供を目指し努力しています。

今後ともご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



↑ QRコード  
看護部ホームページ



看護部のみならず、病院を支える心強いメンバーです。左より

- ◇ 前列：
  - 新居田科長（院内感染管理者）
  - 天野副院長兼看護部長
  - 谷川副看護部長（医療安全管理者）
- ◇ 後列：
  - 正木科長（教育担当）
  - 府川（看護部秘書）
  - 野田副看護部長（地域医療連携室長兼務）
  - 鈴木科長（外来科長・医療安全担当）



### シリーズ健康豆知識 『冬の果物』－免疫力を高める効果も－

寒さも増し、冬も本番となってきました。この時期はこたつでみかんを食べる方も多いのではないのでしょうか。店頭にはりんごや苺も多く見かけます。果物はビタミンCを多く含むので、免疫力を高める効果があります。

特にみかんには喉や鼻などの粘膜を保護するビタミンAを多く含む為、風邪予防に効果的です。

食べ過ぎてしまうと血糖値や中性脂肪を上げる可能性がある為、夕食以降は控え、食べ過ぎに注意しましょう。

栄養科 管理栄養士 大平 真衣

果物の目安量(1日) ※いずれか1種類です。2種類食べる場合は半量ずつにしましょう。

みかん →2個



りんご →半分



苺 →10粒



平成28年 みんなの健康講座 主催：横浜新緑総合病院 ※参加費無料

平成28年1月16日(土) シリーズ糖尿病 「大丈夫？ お薬の飲み方、使い方を確認しましょう！」

講師 横浜新緑総合病院 薬剤部 薬剤師 森 恵

健康に気を付けて、サプリメントや健康食品を摂っている方が増えています。しかし、お薬と飲み合わせが悪い場合があるので注意が必要です。お薬の効果を最大限に発揮し、正しいタイミングで安全に服用できる様に、皆さんと学んでいきたいと思ひます。



会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分） 時間 午後1時30分～2時30分  
お問合せ 地域医療連携室 045-984-6216（直通） 045-984-2400（代表）

平成28年2月20日(土) 「大腸がん」～日本で一番多い癌であることを知っていますか？～

講師 横浜新緑総合病院 消化器センター長・消化器外科部長 齊藤 修治